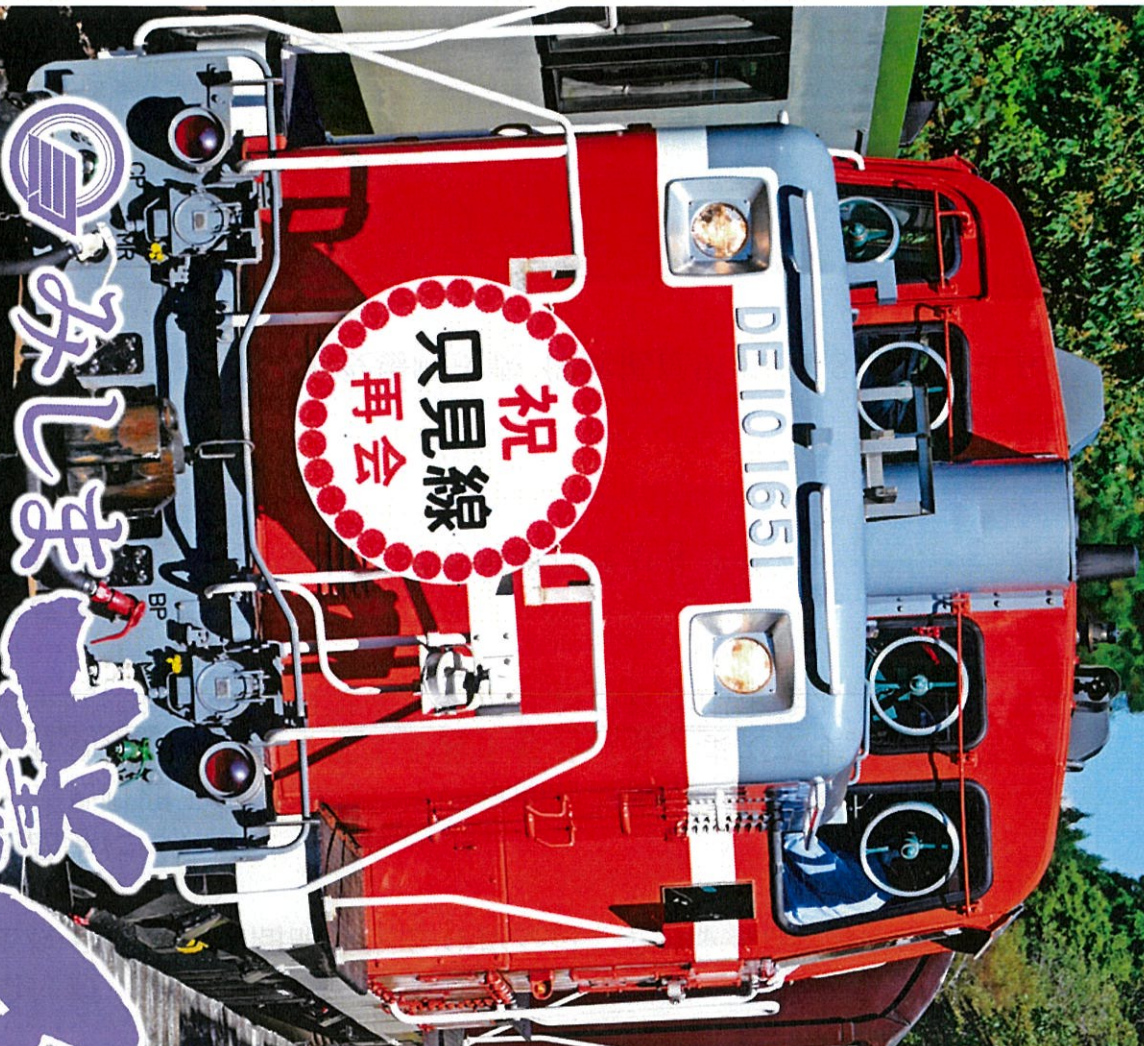


# 祝！只見線全線再開通 未来につながる希望のレール！

(会津宮下駅)



## みしま議会だより

№198

令和4年11月発行

### 9月定例会

- 9月定例会のあらまし ..... P 2
- 一般質問  
～議員が町政をただす～ ..... P 5
- 議会活動報告 ..... P15
- 三島町の明日を考える ..... P16
- 議会の主な動き ..... P18

発行／大沼郡三島町議会

編集／議会広報編集委員会

〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下350  
ホームページ：<http://www.town.mishima.fukushima.jp>

☎0241-48-5588  
E-mail: [gikikai@town.mishima.fukushima.jp](mailto:gikikai@town.mishima.fukushima.jp)

# 9 月定例会のあらまし

9 月定例会は 9 ～ 1 5 日の 7 日間開催され、条例の一部を改正する条例 2 件、教育委員 1 名の任命同意、人権擁護委員の推薦 1 件に同意しました

予算は令和 4 年度一般会計補正予算を議員の修正動議により修正可決し、5 つの特別会計補正予算は原案通り可決しました。

更に令和 3 年度の一般会計歳入歳出決算、7 つの特別会計歳入歳出決算について全て認定しました。

## 【可決結果一覧と条例改正等の主な概要】

| 議案番号 | 議 案 名 等                                                                  | 結果   |
|------|--------------------------------------------------------------------------|------|
| 4 0  | 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例<br>・非常勤職員の育児休業取得要件の緩和等。                         | 可決   |
| 4 1  | 三島町町営住宅等条例の一部を改正する条例<br>・米子沢団地の 1 棟を普通財産とする条例の改正。この改正により老朽化の進んだ住宅の解体を行う。 | 可決   |
| 4 2  | 令和 4 年度三島町一般会計補正予算（※ 1 → 3 頁に関連記事）                                       | 修正可決 |
| 4 3  | 令和 4 年度三島町簡易水道事業特別会計補正予算                                                 | 可決   |
| 4 4  | 令和 4 年度三島町農業集落排水事業特別会計補正予算                                               | 可決   |
| 4 5  | 令和 4 年度三島町介護保険特別会計補正予算                                                   | 可決   |
| 4 6  | 令和 4 年度三島町戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算                                            | 可決   |
| 4 7  | 令和 4 年度三島町後期高齢者医療特別会計補正予算                                                | 可決   |
| 4 8  | 令和 3 年度三島町一般会計歳入歳出決算                                                     | 認定   |
| 4 9  | 令和 3 年度三島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算                                               | 認定   |
| 5 0  | 令和 3 年度三島町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算                                               | 認定   |
| 5 1  | 令和 3 年度三島町路線バス事業特別会計歳入歳出決算                                               | 認定   |
| 5 2  | 令和 3 年度三島町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算                                             | 認定   |
| 5 3  | 令和 3 年度三島町介護保険特別会計歳入歳出決算                                                 | 認定   |
| 5 4  | 令和 3 年度三島町戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算                                          | 認定   |
| 5 5  | 令和 3 年度三島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算                                              | 認定   |
| 5 6  | 三島町教育委員会委員の任命同意を求めるについて（※ 2 → 4 頁に関連記事）                                  | 同意   |
| 諮 1  | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて（※ 3 → 4 頁に関連記事）                                   | 同意   |

## ●● 三島町一般会計補正予算の訂正及び修正可決について ●●

9月定例会に計上された三島町一般会計補正予算案は、役場の予算の訂正、及び議会による修正動議が提出され、原案から2,000千円減額して修正可決されました。

詳細については、まず役場提案の「道の駅尾瀬街道みしま宿駐車場拡張工事」に係る工事請負費2,206千円の増額計上があり、その内訳は交通誘導員1,056千円と伐採した杉の木の伐根処理費1,150千円でしたが、伐根処理費がガソリンスタンド建設予定地の物も含んでおり、議員から駐車場拡張工事費に含めるのはおかしいとの指摘により、伐根処理費を手数料と訂正しました。

次に、会津桐タンス(株)への補助金2,000千円として計上された、桐タンス製品の開発・販売促進の補助として「桐製品魅力向上事業」について、議員より町内事業者もコロナ禍、物価高により苦しんでいるのに、会津桐タンス(株)ばかりに補助するのは不公平である、また、2,000千円の補助金の積算根拠が不明確であり原案を可決するわけにはいかないと、議会側から予算案を修正する「修正動議※4」が提出され、その結果、補助金2,000千円を減額する予算案が全会一致で修正可決されました。

### ※4 修正動議とは

議員が原案に対して修正の提案を提出することで、地方自治法115条の3に定められています。予算等の部分的な修正に用いられることがあります。

### 《議案第42号 令和4年度三島町一般会計補正予算に対する修正動議要旨》

提出者：6番 二瓶 俊浩議員、賛成者：2番 二瓶 辰右エ門議員

町内事業者の多くは苦しい経営を強いられており、なぜ、会津桐タンス(株)だけが一般財源を使って優遇されるのか公平性に欠ける。どの事業者も自らの経営努力で営業している。また、2,000千円の内容が精査されておらず、不明確である。このような点から2,000千円を減額する修正案を添えて、修正動議を提出する。

### 【議案第42号 三島町一般会計補正予算修正議案の可決状況】

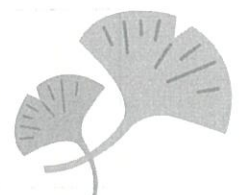
| 議案<br>番号 | 1番   | 2番     | 3番    | 5番    | 6番   | 7番   | 8番   |
|----------|------|--------|-------|-------|------|------|------|
|          | 矢澤 昇 | 二瓶辰右エ門 | 五十嵐健二 | 長谷川清雄 | 二瓶俊浩 | 菅家三吉 | 大竹克昌 |
| 42号      | ○    | ○      | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    |

※議長は採決に加わりません

### 【令和4年度9月補正予算の額】

(単位：千円)

| 会 計 区 分     | 補正前予算     | 補 正 額   | 補正後予算     |
|-------------|-----------|---------|-----------|
| 一 般 会 計     | 2,655,300 | 124,800 | 2,780,100 |
| 簡易水道事業特別会計  | 144,584   | 4,804   | 149,388   |
| 農集排特別会計     | 35,002    | 675     | 35,677    |
| 介護保険特別会計    | 450,748   | 32,687  | 483,435   |
| 戸別浄化槽事業特別会計 | 44,274    | 1,812   | 46,086    |
| 後期高齢者医療特別会計 | 35,434    | 621     | 36,055    |



## 【9月定例会の補正予算の主な内容】

### ■暮らし関係■

|                                  |          |
|----------------------------------|----------|
| ○燃料等購入費助成事業（65歳以上世帯、ひとり親世帯等）     | 3,650千円  |
| ○敬老祝い商品券給付事業（75歳以上、5,000円／人）     | 2,400千円  |
| ○子育て世帯応援給付金（18歳以下、20,000円／人）     | 2,600千円  |
| ○桐の里商品券給付事業（10,000円／人）           | 16,000千円 |
| ○新型コロナウイルスワクチン接種事業（オミクロン株対応ワクチン） | 6,818千円  |

### ■経済関係■

|                          |         |
|--------------------------|---------|
| ○道の駅尾瀬街道みしま宿駐車場拡張工事変更    | 1,056千円 |
| ○道の駅尾瀬街道みしま宿駐車場拡張工事伐根処理料 | 1,150千円 |

## 【教育委員の任命について】 ※2

### ●三島町教育委員会委員に任命された方●

| 氏 名   | 地 区 | 備 考     |
|-------|-----|---------|
| 若 林 豪 | 中 平 | 再任（2期目） |



若林 豪 氏

※ 教育委員会委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者（満25歳以上の者）で、人格が高潔で、教育や学術、文化に関して識見を有する者のうちから、町長が議会の同意を得て任命します。任期は4年です。

## 【人権擁護委員の推薦について】 ※3

### ●人権擁護委員に推薦された方●

| 氏 名    | 地 区 | 備 考     |
|--------|-----|---------|
| 本 名 光子 | 西 方 | 再任（2期目） |



本名 光子 氏

※ 人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行ったりしています。

市町村長が人権擁護委員にふさわしい地域の候補者を選び、議会の意見を聞いた上で法務局へ推薦します。任期は3年です。

## 令和4年第4回臨時議会の開催について

10月6日（木）第4回議会臨時会が開催されました。役場からの提出議案は令和4年度一般会計補正予算で、内容は10月1日に全線再開通した、会津川口駅から只見駅間のJR只見線の運営費負担金の計上で、今年度から毎年会津管内17市町村がこの区間の鉄道施設を所有する福島県に納めていくものです。運営費全体で年間約2億8千万円かかり、内、JR東日本が約7千万円、県市町村負担2億1千万円の内、福島県で7割の1億4千7百万円を負担し、残りを市町村で負担することになり、この内三島町の負担金は年間425万4千円です。

本来この負担金の予算提出は令和4年度の当初予算に計上するものでしたが、役場側が計上するのを失念し、今回の補正予算での計上となりました。

議員からは、「当初予算であげるべきものを、忘れていたで済むことか、緊張感に欠けるのではないか」、との厳しい指摘があり、役場側からは「チェックが甘かった、今後このようなことの無いように、気を引き締めて業務に臨む。」との答弁がありました。

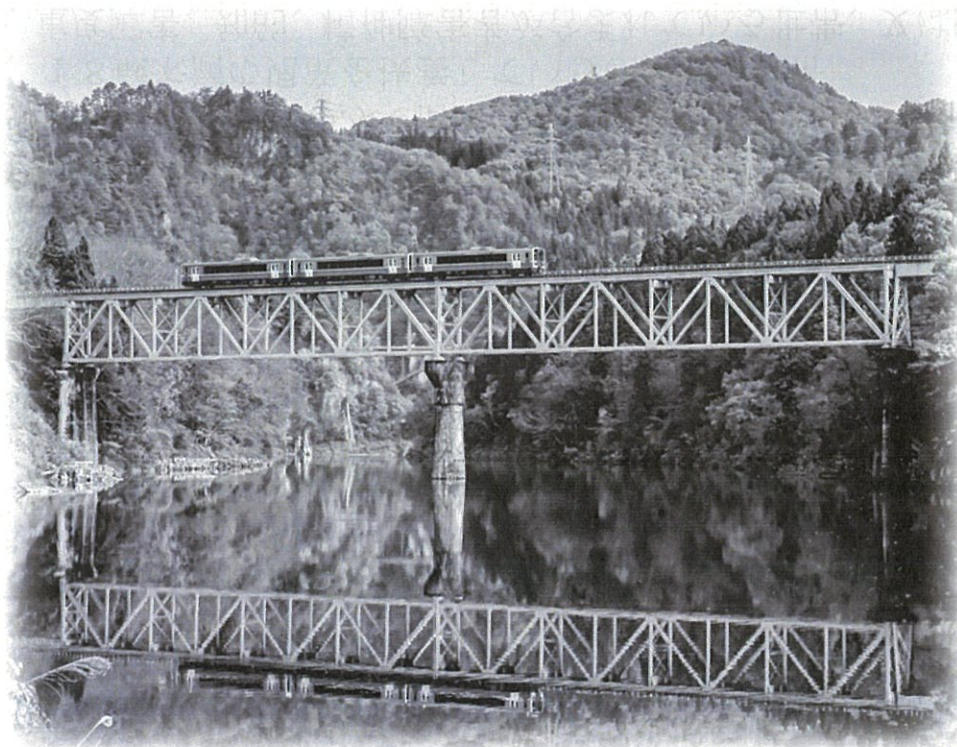
その他、会津川口駅から只見駅間の列車の運行と鉄道施設の維持管理分ける、上下分離方式についてや、今後年間の負担額が増えることがないのかとの質問もありました。

質疑の結果、全会一致で補正予算案は可決されました。

### 【令和4年第4回臨時議会補正予算の額】

（単位：千円）

| 会 計 区 分 | 補正前予算     | 補正額   | 補正後予算     |
|---------|-----------|-------|-----------|
| 一 般 会 計 | 2,780,100 | 4,300 | 2,784,400 |



今後沿線市町村と連携した、只見線の利活用が大きな課題となる

# 一 般 質 問

## ～議員が町政をただす～

9月定例会では5人の議員が一般質問を行い、町政全般について活発な議論を交わしました。(6頁～14頁に掲載)

| 一般質問議員 |            | 質 問 事 項                      | 頁  |
|--------|------------|------------------------------|----|
| 1      | 6番 二瓶 俊 浩  | ① J R 只見線全線再開通について           | 7  |
|        |            | ② 町監査委員の審査結果及び意見に対する町の対策について |    |
| 2      | 7番 菅 家 三 吉 | ① 新型コロナウイルス対策について            | 9  |
|        |            | ② ドローンの導入について                |    |
| 3      | 1番 矢 澤 昇   | ① 道の駅駐車場拡張工事に伴う景観整備について      | 11 |
|        |            | ② 道の駅駐車場屋外トイレについて            |    |
| 4      | 2番 二瓶 辰右工門 | ① 中期財政計画について                 | 12 |
|        |            | ② 定員管理計画と人材育成について            |    |
| 5      | 3番 五十嵐 健 二 | ① 町の事業の進め方について               | 14 |

※一般質問とは…議員が町の将来に対する方針や、執行機関の政治姿勢を明らかにし疑問点等を質します。また、議員自ら政策の提言を行います。三島町議会では1人60分の持ち時間の間に質問答弁を行います。



# JR只見線全線再開通について 町監査委員の審査結果及び意見に対する 町の対策について



二瓶 俊浩 議員

## 1 JR只見線全線再開通について

**問**

甚大な被害を受け、それから11年余りの歳月を経て10月1日に全線再開通となる。これはゴールではなくスタートである。全線再開通に向けての取り組み、そして大事なのは今後の取り組みである。その町の考えを伺う。

**答**

町長 お知らせ版「町・観光協会ホームページ等」を利用し、10月1日全線再開通及び当日は「只見線に手を振ろう」をPRし、全線再開通のほり旗と、

「キハちゃん」のほり旗を掲示し、機運向上に努める。

今後の取組みについては、10月1日は、美坂高原で星空事業を開催。10月15日、16日は、秋の工人まつりを開催。11月5日は、駅前マルシェを宮下駅で開催する。只見線全線再開通イベントとして位置付け、只見線と連携し取組を進める。

交流センターやまびこでは、10月8日から30日までの期間で、只見線全線再開通写真展を開催する。さらに「とっておきの三島フォトコンテスト」において「JR只見線車窓からの眺め賞」を新設し、只見線利用促進につなげたい。

また、通常の利活用を進めるため、レンタルサイクルを紅葉シーズンに合わせて再度PRし、第一只見川橋梁ビューポイントも広域協議会と一緒にPRし、只見線利用につなげ誘客に努める。

広域的には全線再開通に向け、福島県・東北運輸局において、只見線利活用の取組について、具体的な事業検討が進んでいる。今後、沿線市町村が一体となり、それぞれの特色を生かした取組を進める。

只見線利活用には町民の利用が重要であり、また観光関連の利用が大きく影響するので、町内観光事業者とも連携し、只見線を利用した事業展開を誘引し、町内への経済効果につなげたい。

また、通常の利活用を進めるため、レンタルサイクルを紅葉シーズンに合わせて再度PRし、第一只見川橋梁ビューポイントも広域協議会と一緒にPRし、只見線利用につなげ誘客に努める。

## 2 町監査委員の審査結果及び意見に対する町の対策について

**問**

昨年の町監査委員の決算審査意見に對してどのような対策をしたのか、その結果を伺う。

**答**

町長 昨年の決算審査において歳入では、町税、国民健康保険税、使用料等について一層の徴収努力をすること、歳出では、1点目が路線バス事業における新しい交通体系の構築、2点目が美坂高原の有効な利活用、3点目が桐の里産業の育成についてであった。また、適切な財政計画に基づく起債の抑制と効率的な事業執行を切望するとの意見があった。

路線バス事業は、利用者減による収益の悪化により、デマンドバスを平成26年度から運用しているが、他に有効な方策を見出せない状況にある。そのため通学・交通弱者の方の足として、また只見線利用者等に対する二次交通対策としての利用も見据え、様々な角度から検討を続ける。

様々な視点からの利活用案を提案・実施していく中で、美坂高原利活用を図っていく。

桐の里産業は、町内の農業法人が水田事業から撤退したため、平成27年度に町が100%出資してつくった会社で、約20ヘクタールの農地を受託し、うち4割程度の9ヘクタールを保全管理している。

町からの補助金なしで運営することが望ましいが、年間を通じた安定的な収入がないことから、現時点では町からの補助金支出が必須で、町としては、農業部門の強化を支援していく。

今年は、高収益となる作物の栽培、営業販売の強化により、売上げの向上、堆肥の製造による生産量の拡大と経営基盤の強化に努めていきたい。

## 再質問

## 1 JR只見線全線再開通について

**問** 地域住民の生活の足も大切なが、これからは観光での利用が多くなると考える。さらに途中下車をしていただく対策を考えなければいけないと思うが町の考えを伺う。

**答** 地域政策課長 現在在はコロナで来なくなっているが、インバウンドを含めると、やはり三島町の大きな力は、第一橋梁ビューポイント、工人まつりに代表される編み組み細工である。また柳津町と連携してレンタサイクル相互乗り捨てを行っているので、その部分の強化をしながら誘客に努めたい。

**問** 会津川口・只見駅間は上下分離方式での運行、つまり税金である。町民に内容を

知っていたら只見線を守っていく必要があるが町の考えを伺う。

**答** 地域政策課長 町民の足として、また観光客の足として、町民と一緒に考えていく必要がある。

**問** 復旧費の総額は。また県・JR・会津17市町村、三島町の負担額はいくらか。

**答** 地域政策課長 復旧費は全体で81億円、うちJRが3分の1の27億円、その他、県・会津17市町村で54億円。ここに国の鉄道法の改正で補助が入り、県と市町村で21億円を負担する。内訳は、県が7割の約14億9千万円、市町村が3割の約6億4千万円で、三島町は4千万円を負担した。



多くの方が只見線の全線再開通に期待を寄せる

**問** 開通後の毎年の運営費の負担額は、県・会津17市町村、三島町とその財源はどうなるのか。

**答** 地域政策課長 毎年約2億8千万円を予定している。JRが約7千万円、県・会津の市町村で2億1千

万円。うち三島町は425万4千円を負担する。財源は一般財源から行う。

**問** JRや国交省の有識者検討会では、赤字が続く各地のローカル鉄道の見直しで存廃やバス転換など報道

されているが町の見解を伺う。

**答** 地域政策課長 今、再開通に向けて、人を乗せていきましようという流れなので、その状況が改善されなければ、只見線の利活用に関する協議が再考されるのではと考え

**問** このことについて対策はしたのか。

**答** 地域政策課長 町も危機感を持ってやらなければならぬ。沿線町村の会津若松から只見、小出を含めた協議会がある。そこで情報を出して、地域住民の方から意見を聞き、どういった只見線にして人を乗せて、次の5年間で乗客を増やしていくという計画づくりを現在行っている。またより次第、町としての取組を町民にPRしていきたい。

## 2 町監査委員の監査結果及び意見に対する町の対策について

**問** 町営バスについて、何を検討したのか。

**答** 総務課長 利用者の増と経費減という取組を進め、いかに利用してもらうかを考えている。一つには利用料金は大人1回500円となっているが、例えばさらに安くして、多くの方に利用してもらう。また、デマンドバスの電話予約の面倒の解消など、様々な検討はしているが、具体的にはそれをいつから実施するかまでは、まだ議論が進んでいない。

(二瓶俊浩議員の一般質問は60分の持ち時間の時間切れとなりました。)

# 新型コロナウイルス対策について ドローンの導入について



菅家 三吉 議員

## 1 新型コロナウイルス対策について

**問** 新型コロナウイルスの猛威は、2年半経過したが、収束の見通しはおろか、感染者が日々増えるばかりである。今回の町内での急激な増加の要因はどこにあると考えるか伺う。

以前に比べ、重症化リスクは低いと言われているが、高齢者の多い当町では、感染の連鎖をつくらない対応が急務と考える。7月末から8月に、介護施設の利用者・職員や保育所職員をはじめ多くの

感染者が確認されている。今回の福祉施設での感染拡大はどのような要因があるのか。またどのような対策を取ったのか伺う。

新たなワクチン接種は、9月の半ばから接種できると報道されている。今後のワクチン接種のスケジュールを改めて町民に周知して欲しい。

**答** 町長 町では6月末時点で12名の感染者だったが、7月からの全国的な感染者の急増に伴い、当町でも感染者が増加し、7月に13名、8月に42名の感染者が確認され、8月末現在、累計67名の感染者が報告された。要因は、感染力が強いとされるオミクロン株、BA5の急激な流行、

また行動制限がないため、普段会わない人との機会が多くなったことが考えられる。

7月末から8月上旬に、福祉施設利用者の感染が確認された。保健所の指導の下、10日間の施設業務停止、3日間の施設利用の停止となり、利用者及び関係者約40名の方々は医療機関でPCR検査を受けた。町は利用者の家族を含め接触があった方に対し、町のPCR検査を実施し最小限の感染に留めることができた。福祉施設での感染拡大の要因は、利用者家族が無症状の感染者だったため感染したこと、熱中症対策でマスク着用が緩和されていたことから、施設職員が感染したことが

大きいと考える。また教育施設でも、マスクの正しい着用、十分な換気など、感染対策を徹底するよう教育委員会と連携している。

ワクチン接種のスケジュールは、10月からオミクロン株に対応したワクチン接種を実施する予定。今回のワクチン接種対象者は、1回目と2回目の接種済みの方が対象。町民には改めて感染対策の再確認をお願いする。

## 2 ドローンの導入について

**問** イノシシなどの農作物への被害は今年も多いと聞く。町は鳥獣害対策として、電

柵の設置への助成や巻狩りなどを実施しているが、どの程度の効果があったのか伺う。以前、ドローンによ

る上空からの生態調査の話があった。一度の調査では何も実る結果は出ないと考える。イノシシなどの行動の確認、上空からの被害状況の確認など、定期的に行う必要があるのではないかと。そこで、町独自で計画的に調査を行えるように、ドローンの導入を検討すべきではないかと。導入すれば鳥獣害対策への使用、それ以外にも火災や土砂災害への対応、また冬季間の積雪の状況、雪害の確認、そして観光では、再開通する只見線を含めた三島町の絶景ロケーションの発信など、様々な分野での活躍が期待できる。導入を検討してはどうか。

**答** 町長 令和3年度の電気柵設置補助の申請は、地区等で8件、農業法人1件、個人1件の計10件が申請

がされた。事業費は920万円の実績。被害面積は前年に対して微増、被害額は24%増で、被害増額の理由としては、電気柵等を設置し農地被害がなくなったが、未設置の箇所の農地が集中的に被害を受け、結果的に被害額の増になった。

巻狩りの駆除効果は、令和3年2月に大谷地区でイノシシ10頭の捕獲実績があり、その効果は実証された。しかし、令和4年3月に実施した西方・大谷地区の巻狩りは、捕獲実績がゼロであった。原因は、今年2月に大雪で入山できなかったこと、3月の雪解けが早くイノシシの活動が活発になったためと考える。

鳥獣害対策でドローンを活用して猟友会と実施調査したところ、鳥獣の足跡等を確認することで、西方・大谷

地区の生息状況や、また上滝谷地区では冬場は生息していないことが判明した。この調査は効果的だったので今後も継続していきたい。

ドローン導入については、利用頻度やオペレーターの観点から、現時点では町の所有は考えていなかったが、効果や、隣接町村の購入等を勘案し、導入を検討していく。

## 再質問

### 1 新型コロナウイルス対策について

**問** 今後、交流人口の増加も予想される。宿泊・観光業の方はうれしい反面、感染が心配される。改めて事業者に対し現況の説明や支援策、お客の受入対応などの意見交換を実施してはどうか。

**答** 町民課長 JR只見線の全線再開通で観光客の増が想定さ

れる。庁内で連携し対応策を検討したい。飲食業については保健所の指導をもとに検討したい。

**問** 福祉施設等で感染拡大があった頃、町民から様々な声を聞いた。その中で間違った情報も流れていた。感染者の公表はされていないが、話が大きくなったのが実態だった。情報が入らないのはわかるが、適切な情報の提供があれば防げたのではないか。

**答** 町民課長 7月末は人数の報告だけという状況。福祉施設の件は速やかに利用者に感染者が出たという情報を伝え、町独自のPCR検査の実施、その家族にも町独自のPCR検査をお願いし、最小限の人数にとどめられたと考える。

**問** 今回の件でPCR検査は何件実施したのか。

**答** 町民課長 8月末で85件。

**問** 近所の方が感染し自分も心配なときに、役場へ行くことのできない高齢者の方には区長や民生委員の協力を得ながら簡易検査キットでの対応がとれれば感染拡大防止につながるのではないか。

**答** 町民課長 簡易検査キットは症状が出ない限り陰性となってしまう。感染の疑いがある方は町のPCR検査受けるようお知らせしている。土・日は町のPCR検査ができないうえ、応急的に検査が必要な場合のみ簡易検査キットの拡充を図る。

**問** 土・日はどこに連絡して、どのような行動をとればよいか。

**答** 町民課長 町民課保健福祉係まで連絡いただければ対応する。

**問** 変異株対応のワクチンの確保はどのような状況か。

**答** 町民課長 9月19日の週に、ファイザー製ワクチン67バイアルが入る予定。人数分で約400人分。9月26日の週にモデルナ製6バイアルが入る予定。変異株対応ワクチンは主に60歳未満の方が対象となるので、必要量は確保できる見込み。

**問** 防災無線で定期的な感染対策のお知らせがあるが、マンネリ化していると感じる。強いメッセージ性をもってやればと思うが。

**答** 町民課長 みしまテレビを使い感染対策などを伝えていき

たい。

### 2 ドローンの導入について

**問** ドローンでの鳥獣対策調査は、専門業者に依頼する考えと聞いた。前回はどこに依頼したのか。

**答** 産業建設課長 2社で見積をとり、町内のみしまテレビ受託会社に委託した。

**問** みしまテレビは人手が足りない状況である。急な災害等でドローンが必要なき委託先に頼りきりではないのか。

**答** 産業建設課長 役場内部でオペレーターが確保できるよう進めたい。

**問** オペレーターが一つの課の職員だけでは、緊急時に動かせないことが出てくるのではないか。

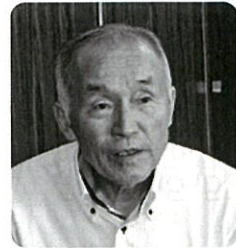
**答** 産業建設課長 常に各課で2名位操作できる体制の確保に努めたい。

**問** 災害現場、火災現場等において消防団員も操作できるようにはどうか。

**答** 総務課長 昨年消防団の幹部が、オペレーター講習を受けたので、そのような取組も今後進めていかなければと考える。

# 道の駅駐車場拡張工事に伴う景観整備について

## 道の駅駐車場の屋外トイレについて



矢澤 昇 議員

### 1 道の駅駐車場拡張工事に伴う景観整備について

**問** 現在、道の駅の駐車場拡張の造成工事が始まっている。町道川井西方線の赤道側にある杉の木が景観を遮っている。今後、道の駅側まで伐採する計画があるのか。

赤道については、新たに駐車場に接続するように考えているようだが、私は、杉の木を伐採することにより、新たな観光スポットとして、道の駅に立ち寄るお客様により一層三島町の景観を楽しんで

もらえるのではないかと考えるが、町の考えを伺う。

**答** 町長 当初計画では、駐車場部分の伐採を優先させ、その後間伐等により景観整備を行う予定だったが、山林所有者が亡くなられたため、今年度は駐車場部分の伐採のみとした。多くの方より、杉等を伐採すれば、すばらしい景観スポットになるので伐採すべきではとの意見が出された。山林は個人所有地であり、急斜面のため作業が相当困難で経費もかかるが、第一只見川橋梁と合わせ、三島町の新たな魅力づくりとして捉え、この場所の森林景観整備を取り組みたい。

### 2 道の駅駐車場の屋外トイレについて

**問** 昨年も質問したが、道の駅駐車場の屋外トイレは現在定期的に清掃されているように、以前に比べればよくなったように感じるが、まだまだ改善の余地があると考えている。

**答** 町長 道の駅では、駐車場の拡張を含めて全体的な整備計画を策定することだった。その後の進展を伺う。



駐車場拡張工事に併せて、新たな景観整備が望まれる

内清掃と、月1回は建物周りも含めた清掃を実施し、加えて週3日で道の駅施設をメインに、屋外トイレも含め、清掃員による清掃を行っている。

以前ほどの苦情は来ておらず、トイレに入っても以前よりは汚れ等が目立たなくなった。しかし、多くの人が利用した際のすぐの清掃が課題になると思うので、常に状況をみなが

ら、きれいなトイレを維持したい。

全体的な整備計画の策定の進展については大きな変化はないが、駐車場整備後におけるトイレ利用状況を見極めながら、新たなトイレ整備の検討をしたい。

### 再質問

#### 1 道の駅駐車場拡張工事に伴う景観整備について

**問** 景観整備について、一部の個人の杉は伐採されたが、他の所有者の土地は急傾斜地にあり、作業が困難であるとのことだが、私はこの杉の伐採はできると考える。

令和4年度の重点事業等の説明の中で、新たなガソリンスタンドと駐車場整備のイメージ図があったが、これを見ると、すばらしいものになると思う。なるべく早めにこのイメ

ージどおりにできるように取り組んで欲しい。

**答** 地域政策課長 対象の場所が個人所有の山林ということもあり時間と費用がかかる。伐採されれば素晴らしい景色になると思うので、様々なことを整理しながら景観整備を進めたい。

#### 2 道の駅駐車場の屋外トイレについて

**問** 10月1日の只見線全線再開通でさらに観光客が増え、現在のトイレでは狭くなると思う。駐車場拡張時に合わせて、トイレの改築を行った方が良いのではないかと。

**答** 地域政策課長 駐車場の完成と同時にトイレの整備を行うのではなく、年間の利用頻度を見ながら、令和5年度以降にトイレの改修等を検討したい。

# 中期財政計画について 定員管理計画と人材育成について



二瓶辰右工門 議員

## 1 中期財政計画について

**問** 令和2年6月議会において、第五次振興計画が「絵に描いた餅」にならないためにも、中期財政計画を策定すべきと主張してから2年、ようやく実現した。何故時間を要したのか。

**答** 町長 公会計制度による財務4表の作成を最優先事項として取り組むよう県から指導があり、同時に進める必要があったため。

**問** 中期財政計画を策定するにあたり、

様々な議論がなされたと思う。最も苦労した点と、町長自らが最も力を入れて指示した点は何であったか。

**答** 町長 歳出予算を見積もるに当たり、振興計画・過疎計画との整合性を図り、財政を見据えながら、現状とかけ離れた計画とならぬよう調整を図った点。最も力を入れた点は、町が進める事業を、計画に基づいて実施するため、財政的な裏づけをどのように確保するかという点。

**問** 中期財政計画が5月に町のホームページに公表された。この公表により、町長は町民に何を伝え、どのように見てもらいたいと思っているのか。

**答** 町長 町の財政は国の動向に左右される脆弱なものなので、財政がひっ迫しないよう、住民が安全・安心に暮らしていけるよう、財政運営に取り組むとの思いで、今後とも積極的に情報公開をしていく。今後の予算編成の指針となるもので、内容も難しいと思うが、それぞれの立場で見てもらい、どこに予算が配分されているのか、ご質問・ご意見をいただき丁寧に説明したい。

**問** 中期財政計画書の歳出予算への計上は、第五次振興計画の実施計画書を概ね踏まえているが、昨年10月に策定された「公共施設個別施設計画」及び「学校施設個別施設計画」が反映されていない。町の公共施設と学校施設を合わせ98施設132棟について、今後10年間で毎年5億3千万円、10年間で53億円が必要であるとしている。今回の中期財政計画には、積立金を増額するなどの様に考慮したのか。

**答** 町長 今回の中期財政計画に掲げた事業の財政的な裏付けという意味合いから、振興計画に盛り込まなかった事業は載せていない。今回は予想される公債費の増を見据えた財源確保の観点から積立金を計上しており、地方交付税決算ベースで見積もる等、歳入を適正に捉え、歳出計画額ベースを抑制していくことで、基金積立金は減少していくので積立ても考慮した。

**問** この計画を見るのと、危険水域にある当町の財政基盤をしっかりとするためには、早急な行財政改革が必要である。「大胆な経常経費の見直し」は、令和2年6月議会では表明されたが、令和3・4年度予算に反映されていない。「大胆な経常経費の見直し」は断念したのか。

**答** 町長 大胆な経常経費の見直しは、現在国は新型コロナウイルス感染症対応という状況にあり、地方創生を推進する中で、脱炭素、DX等の推進、地域経済対策等を図るため、積極的な公的支出をしており、予算規模も過去最高を記録し、積極的に事業に取り組んでいる。国の動向や財政状況を注視しながら行財政運営をすることが肝要で、今は公的支出を活用し各種事業

を実施しているため、大胆な見直しには至っていないが、今後も財政状況を見ながら、断の見直しに努める。

**問** 財務状況資料集の経常経費分析表によると、令和3年11月に公表された元年度決算の分析と令和4年3月に公表された2年度決算の分析に大きな変化がみられる。昨年度決算においても財政状況は更に悪化していると言わざるを得ない中で、分析結果の大きな変化となったその要因（財政を取り巻く状況）をどの様に評価したうえで変更表現としたのか。

**答** 町長 分析結果については、大きな変化があったとは捉えていない。令和3年度と比較しても、現状維持か向上しており、地方交付税の増額が大き

な要因となっている。

## 2 定員管理計画と人材育成について

**問** 全国市町村の経常経費分析表によると、令和2年度の決算は前年度よりもさらに悪化している。特に、人口一人当たり決算額で見る人件費は、236千円から279千円に、人口千人当たりの職員数では26・96人から29・45人に増加している。全国56の類似団体それぞれに事情があるものと思うが、我が町の人件費や職員数がハイレベルにある結果をどの様に評価しているか。

**答** 町長 全国類似団体56団体は、5千人以下の自治体で、産業構造が似ている団体ですが、人口規模で見ると少ないほうから9番目であり、人口が少ない町村は人口1人当たりの負担が大きくな

っており、当町では少ない職員の中、先進的な事業に積極的に取組んでおり、業務に見合ったものと捉えている。

**問** 平成30年3月に策定した「定員管理計画」では、令和5年3月までの職員数の目標値を44人程度としていた。新たな定員管理計画ではどのような方針で臨む考えか。

**答** 町長 新たな定員管理計画では、現計画をベースに、今後の人口減少を踏まえ、業務と適正人員を検討する必要がある。また、定年延長も制度化されるので、今後しばらく定年退職者が発生しないことも想定し、一時的に職員が増となるかもしれないが、職員の年齢構成も考慮し、職員採用を計画的に実施していく必要がある。

## 再質問

### 1 職員数について

**問** 我が町の職員数は全国類似団体の平均値よりも多い。町長は、「先進的な事業に積極的に取り組んでいる。」との内容だが、言葉は素晴らしいが腹には落ちてこない。その実態を私が知らないだけかもしれないのでご教授願う。

**答** 町長 先進的な事業は、地域循環共生圏事業や、循環型社会の事業とか、歴代の首長が積み重ねたものを更に発展させるため進めていることが先進的な事案と考える。

**問** 令和元年度の評価では、「現在の職員数の削減は事務事業の担当状況からみて非常に困難と考えられるが、業務の見直し、スリム化と並行した職員削減が急務となる。」

**答** 令和2年度には、「職員の削減や人件費削減は容易ではない。業務と人員配置の不断の見直しが重要である。」と表現が変わっている。「職員数の削減が急務となる」という結論が、「不断の見直しが重要である」と変わっている。この変更をどの様に思うか。

と言っている。

**答** 答弁なし

### 2 人件費について

**問** 平成20年度から令和7年度までの人件費の推移を見ると、職員給（正規職員に支給する給料）と総人件費の乖離が年次ごとに大きくなっている。正規職員以外に支払う人件費が大きくなっているのを見てよいのか。

**答** 総務課長 人件費については、職員数も同じように増え、

職員給も上がっていくという想定である。

**意見** 今回の中期財政計画では、物件費をかなり落としている。これは机上で落としているだけで、何かを見直して落としたものではない。だから、不断の見直しは必要である。どこの組織であっても不断の見直しは行われている。しかし、行財政改革というのは不断の見直しではなく、目標値を定め、狙いを定め、誰がどんなやり方で、いつまでにどんなことをやっていくのか、ということが行財政改革だ。だから、行財政改革を不断の見直しに置き換えることはできない。全然意味が違つ。この中期財政計画を見る限り、待ったなしに手を付けなければならぬ課題であることは明白だ。もう考えてい

る余裕がない位切羽詰まっている。すぐに着手すべきであることを提案する。

## 町の事業の進め方について



五十嵐健二 議員

検証・改善について伺う。

**答** 生涯学習課長 第五次振興計画の若

者対策事業は、世代交流事業・結婚対策事業を掲げている。令和3

年度には、結婚対策事業としてマッチングア

プリや及び福ナビの登録料の半額補助を開始した。新型コロナウイルス感染症の影響で、若者の活動団体も再開を躊躇する状況にあり、事業開始に時間を要した。今後年度毎に事業を検証し改善を図りながら、目標とする婚姻数の増加に努めている。

**問** 町長 平成28年度に開催した三島町観光施設等利用プロジェクトにおいて策定した、美坂高原活用方策事業展開に基づき利活用を進めてきた。利用者の目標値を設定してきたが、目標値には達していないので、利用者や収益を伴った利活用が見出せていない。美坂高原利活用事業展開については、実行委員会を組織して具体的な事業化を目指す。

**再質問** 若者対策事業は、重要な事業であると考えているのか。

**答** 生涯学習課長 大変重要な事業だと考えているが、難しい課題とも感じる。

**問** 第四次振興計画の反省を踏まえ、第五次振興計画では、若者交流事業から世代間交流事業に変えて進めているが、どのように進めているのか。

**答** 生涯学習課長 多

世代の方が参加できる世代間の交流とい

う形で考えている。

**問** 若者対策事業は、今後も三島町にとって大変大きな問題だと思うが、今後どのように進めていくのか。

**答** 生涯学習課長 今年度の事業については、様々なものを活用し、10月にはスタートできるような考えている。

**問** 結婚対策についてはどうか。

**答** 生涯学習課長 昨年9月から登録料の補助を始めたが福ナビは現在登録者ゼロですが、様々な企画を進める中でPRし登録者を増やしていきたい。

**問** 町は美坂高原を今後どのようにしていくのか。またビジョンはあるのか。

**答** 地域政策課長 美坂高原は、農地エ

リア、フラワーパークエリア、キャンプエリアで人を呼び込む方向性を持っている。町だけが考えるのではなく、その利活用も含め意見を持っている方に集まってもらい、美坂高原のこういうものが活用できるのかを、事業を実施しながら進めていきたい。

**意見** 美坂高原について

は町の進め方をしっかりと持ち、町民に説明し納得してもらうことも必要だ。また、担当課で行っている事業も他の課で似たような事業があった場合には、お互いに協力してやるのが良い成果につながると思う。

若者対策は、人口減少・少子化の問題を少しでも解決するために、非常に重要な事業である。その事をしっかりと認識して進めてほしい。

**問** 町直営になって8年が経過した。維持管理費が年間約700万円かかり現在まで約5千600万円が投資されている。利用者や収益が見出されていない状況で、どのように運営していくのか。

**答** 地域政策課長 これまでの事業の利活用計画をベースとしながら活用していくという方向性は持っている。運営は経費を落としながらやっていき、入場料だけでは難しい

が、多くの人に来ていただければお金も動く。人を呼び込む方法を皆さんと考えていきたい。

用を進めてきた。利用者の目標値を設定してきたが、目標値には達していないので、利用者や収益を伴った利活用が見出せていない。美坂高原利活用事業展開については、実行委員会を組織して具体的な事業化を目指す。

**再質問** 若者対策事業は、重要な事業であると考えているのか。

**答** 生涯学習課長 大変重要な事業だと考えているが、難しい課題とも感じる。

**問** 第四次振興計画の反省を踏まえ、第五次振興計画では、若者交流事業から世代間交流事業に変えて進めているが、どのように進めているのか。

**答** 生涯学習課長 多

世代の方が参加できる世代間の交流とい

う形で考えている。

**問** 若者対策事業は、今後も三島町にとって大変大きな問題だと思うが、今後どのように進めていくのか。

**答** 生涯学習課長 今年度の事業については、様々なものを活用し、10月にはスタートできるような考えている。

**問** 結婚対策についてはどうか。

**答** 生涯学習課長 昨年9月から登録料の補助を始めたが福ナビは現在登録者ゼロですが、様々な企画を進める中でPRし登録者を増やしていきたい。

**問** 町は美坂高原を今後どのようにしていくのか。またビジョンはあるのか。

**答** 地域政策課長 美坂高原は、農地エ

リア、フラワーパークエリア、キャンプエリアで人を呼び込む方向性を持っている。町だけが考えるのではなく、その利活用も含め意見を持っている方に集まってもらい、美坂高原のこういうものが活用できるのかを、事業を実施しながら進めていきたい。

**意見** 美坂高原について

は町の進め方をしっかりと持ち、町民に説明し納得してもらうことも必要だ。また、担当課で行っている事業も他の課で似たような事業があった場合には、お互いに協力してやるのが良い成果につながると思う。

若者対策は、人口減少・少子化の問題を少しでも解決するために、非常に重要な事業である。その事をしっかりと認識して進めてほしい。

**問** 町直営になって8年が経過した。維持管理費が年間約700万円かかり現在まで約5千600万円が投資されている。利用者や収益が見出されていない状況で、どのように運営していくのか。

**答** 地域政策課長 これまでの事業の利活用計画をベースとしながら活用していくという方向性は持っている。運営は経費を落としながらやっていき、入場料だけでは難しい

が、多くの人に来ていただければお金も動く。人を呼び込む方法を皆さんと考えていきたい。

用を進めてきた。利用者の目標値を設定してきたが、目標値には達していないので、利用者や収益を伴った利活用が見出せていない。美坂高原利活用事業展開については、実行委員会を組織して具体的な事業化を目指す。

**再質問** 若者対策事業は、重要な事業であると考えているのか。

**答** 生涯学習課長 大変重要な事業だと考えているが、難しい課題とも感じる。

**問** 第四次振興計画の反省を踏まえ、第五次振興計画では、若者交流事業から世代間交流事業に変えて進めているが、どのように進めているのか。

**答** 生涯学習課長 多

世代の方が参加できる世代間の交流とい

う形で考えている。

**問** 若者対策事業は、今後も三島町にとって大変大きな問題だと思うが、今後どのように進めていくのか。

# 議会活動報告

## 町有施設の調査を実施しました

10月13日、現在町で所有している施設の調査を実施しました。町は98施設132棟の建物を所有しており、その維持管理が今後の大きな課題となっています。多くの建物は築30年を経過しており、修繕や耐震性等の観点からも早期の解体を必要とするものがあります。

町が令和3年10月に策定した「三島町公共施設個別施設計画」に基づき、議会では中でも修繕が必要な施設、老朽化が激しい施設、現在有効に活用されていない施設等16施設を調査しました。（調査した施設は下表のとおり）

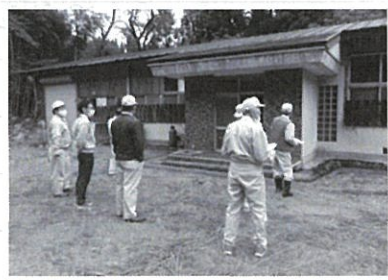
調査した中でも、最も老朽化が激しいものとしては、三島中学校校庭脇の「旧宮下中学校寄宿舎」で、屋上からの雨漏りも見られました。また、三島小学校の屋根もサビが出始めており、改修が必要になってきています。

中には物置的に使われている施設もあり、目的に沿った活用がされていない施設もありました。

この調査をもとに議会では今後の各施設の適正な管理と活用、財政計画と併せた維持補修・解体計画などを提言して、役場と協議してまいります。



旧宮下中学校寄宿舎



旧滝谷分校

### 調査対象施設

| 施設名                    | 所管    | 備考        |
|------------------------|-------|-----------|
| 旧西方児童館                 | 総務課   | 普通財産・使用者有 |
| 旧保養センター                |       | 普通財産・使用者有 |
| 旧桧原分校                  |       | 普通財産      |
| 町営バス滝谷車庫               |       | 普通財産・使用者有 |
| 旧宮下中学校寄宿舎              |       | 普通財産      |
| 老人休養ホームふるさと荘           | 地域政策課 | 行政財産・指定管理 |
| 大林ふるさとの山               |       | 行政財産      |
| 林産物加工品等展示販売施設（第1物産館）   | 産業建設課 | 行政財産      |
| 地域特産品流通販売促進センター（第2物産館） |       | 行政財産      |
| 米子沢住宅                  |       | 行政財産      |
| 三島小学校                  | 教育委員会 | 行政財産      |
| 三島中学校                  |       | 行政財産      |
| 旧滝谷分校                  |       | 行政財産      |
| 三島町営スキー場ロッジ            |       | 行政財産      |
| 三島町生涯学習センターカタクリ        |       | 行政財産      |
| 教員宿舎                   |       | 行政財産・入居者有 |

## 県立宮下病院は、どのように患者さんに寄り添う医療をしているのか？

三島中2年  
小柴 美優

### 1 職業体験で学んだ三島町の今 体験場所 県立宮下病院

宮下病院では、病院に來ることができない年配の方に対して、医師や看護師が直接患者さんの自宅を訪問し、診療をしています。また、患者さんなどの手洗いや食事の指導にもこだわっているとのことでした。また、町民センターなどの各集会所で、健康教育を行っています。三島テレビで「愛ばんしょ外来」という番組を放送していると聞きました。宮下病院には、いない整形外科、皮膚科、心身外来などの専門知識がある先生を、他の病院から呼び出しています。

### 2 三島町の明日を考える 三島町の医療は

県立宮下病院は、これから三島町、奥会津の地域の人たちを支えていく大切な病院だと思っています。三島町以外の奥会津の町村には、医師が1人



しかいない診療所があり、宮下病院の医師が手伝いに行くときがあるためです。三島町のような過疎地の診療所は、深夜、休日であっても急患があれば休みというわけにいかず、診察、治療に当たらないければなりません。医師不足が長年の課題となっていて、ということでお医者さんが宮下病院にどんどん来てくれるといいなと思います。また、宮下病院が建て替えられるという計画があることを聞きました。その病院は、新しい設備を備え、さらに患者さんが来やすい、そして医療従事者の方が働きやすい病院となつてほしいと思います。

今号から昨年に引き続き三島中学校の生徒たちの声を掲載して行きます。今回は中学2年生です。9月に行った職業体験を通じて感じた、三島町での将来等について考えています。これからの次代を担う中学生の声を、ぜひご一読ください。

## 奥会津書房は、三島町にどのように関わっているのか？

三島中2年  
鈴木 璃音

### 1 職業体験で学んだ三島町の今 体験場所 奥会津書房



奥会津書房は、三島町の良さや三島町の人々の良さを他の町などに知らせるための手助けをしています。もちろん、町や人々の良さを伝えることは、町全体の取り組みだと思えますが、町外に発信しているのが奥会津書房だと思いました。奥会津書房の遠藤さんは、町の伝統を伝えていくために本を作りたいと思ひ、独学で本の作成を行っていました。また、奥会津書房には、たくさんの方がいらつしやいました。町の方がいらして、町での仕事のことや面白い話をしてくださいました。ここには、町をより良くしたいという思いを持つ方々がたくさん集まっています。

### 2 三島町の明日を考える 三島町のよさを伝えていくには

奥会津、特に三島町のことを伝えていくためには、まず私たち自身が三島町の良さや人々の良さを新しく見つけ、町の中で共有していく必要があると思います。そういった活動を行い、雑誌にして伝えてきたのが、奥会津書房の方々だと思います。これから、町のよいところをたくさん詰め込んで、それを読んだ人に「もっと知りたい」「受け継ぎたい」と思ってもらえるような雑誌を作っていくってほしいと思います。今回の職業体験学習から、雑誌には見せたいものをよりよく読者に伝えることができるパワーがあるのわかりました。私もそのような雑誌を作りたいと思いました。例えば、三島町のために町の魅力である多様な情報をより効果的に発信していく情報誌は、どうか考えてみました。

## みしま宿は、三島町のためにどのような役割を果たしているのか？

三島中2年

二瓶 剣士朗



### 1 職業体験で学んだ三島町の今 体験場所 道の駅尾瀬街道みしま宿

駅長さんは、みしま宿は三島町の玄関口であり、観光客の三島町の印象はここで決まると話していました。みしま宿には、三島町の特産品である伝統工芸品の編組細工やかぼちゃ、茄子などがあり、2階には会津総桐たんすの展示もあります。職業体験では茄子を包装しました。うまく包装するのが難しかったです。また、パンフレットなどで地域の道路情報やイベントなどを提供しています。屋外には木製のベンチやテーブルがあり、自由に立ち寄ることが出来ます。このようにみしま宿には、観光客に三島町の特産品などを知ってもらう、道路や地域の情報を親切に提供する、快適にくつろ

げるような休憩場所としての機能などの役割があることがわかりました。

### 2 三島町の明日を考える

道の駅みしま宿は、三島町の特産品としての工芸品や野菜などを直接見てもらい、三島町のよさを知り好印象を持ってもらうことで、また来てもらうという役割を果たしています。日本各地の道の駅にはその地域の特色を活かした施設などがあります。みしま宿には、その近くに只見川ビューポイントがあるので、それを活かした取り組みをすれば良いと思います。私がビューポイントに上った時、只見川と只見線の美しい風景を観ることができました。この景色を多くの人に見てほしいと思います。例えば、只見川ビューポイントの写真を撮って、みしま宿駅員に見せると、町内のお店の〇〇プレゼント券がもらえます。なんていう企画を立てて、より多くの人たちに来てもらえるようにしては、いかがでしょうか。

# 三島町の明日を考える

## 会津坂下消防署三島出張所は、どのように地域の安全を守っているのか？

三島中2年

森 玲奈



### 1 職業体験で学んだ三島町の今 体験場所 会津坂下消防署三島出張所

三島町では、本年、火災、救助以外の災害出動で2件ポンプ車が出動しており、昨年は、火災1件、救助2件、その他1件出動しています。また、本年の救急車の出動件数は、令和4年9月1日～8日で2件、9月上旬までで累計130件で、昨年は183件、一昨年は133件でした。平和な三島町でもこんなに多くの出動が必要なのです。このような状況の中で、消防士の方々は、睡眠時間を削りながら業務を行い、緊急時に備えてすぐ行動できるよ

うに仮眠中でも作業を着ながら寝ています。もし、出動することになったとしても「死なないこと」と、「けがなどをした人の気持ちを考えること」などを大切にしています。

### 2 明日の三島町の防災・救急のために

これからの救急体制

私たちが普段の生活の中で、積極的に災害予防をすることで、出動件数はどんどん少なくなると思うことができます。その意味でも学校で行う避難訓練は、大切だと思いました。また、防災ヘリコプターを取り入れると、救助活動や救急搬送などをよりしやすくできると思います。地上からの消火・救助活動が困難な場合があります。そんな状況のときに、空から現場に近づくことができ、移動速度が車両に比べて格段に早い、空中からの消火ができる、などの利点を活かしてヘリコプターが利用されるといいと思います。

## 議会の主な動き

### ▶ 2022年8月 ◀

- 1 日(月) DXトップセミナー  
 4 日(木) 両沼地方町村議会議長会行政視察  
 (～5日・議長・宮城県)  
 9 日(火) 令和3年度決算審査  
 (～12日・議会選出監査委員)  
 16 日(火) 広域市町村圏整備組合議会定例会  
 (～24日・大竹議員)  
 23 日(火) 福島県町村議会議長会正副議長研修  
 (議長)  
 26 日(金) 議会全員協議会  
 交通安全協会三島分会総会 (議長)  
 30 日(火) 議会運営委員会

### ▶ 2022年9月 ◀

- 9 日(金) 第3回議会定例会 (～15日)  
 11 日(日) 市町村対抗軟式野球大会 (伊達市)  
 16 日(金) しあわせ金婚夫婦表彰式 (議長)

- 20 日(火) 奥会津五町村議会議長会連絡協議会行政視察 (～22日・議長・岩手県)  
 26 日(月) 町有施設調査箇所協議  
 30 日(金) 両沼地方町村議会議長会要望箇所視察 (議長)

### ▶ 2022年10月 ◀

- 6 日(木) 議会運営委員会  
 第4回臨時議会  
 12 日(水) 三島町老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会 (議長)  
 13 日(木) 町有施設調査  
 17 日(月) 両沼地方町村議会議長会決議事項県要望 (両沼管内・議長)  
 19 日(水) 議会広報編集委員会  
 24 日(月) 福島県町村議会議長会議員研修 (郡山市)  
 27 日(木) 山内長県議杯ゲートボール大会 (柳津町・議長)

## 議会傍聴においでください

12月議会は**12月中旬**に開催予定です。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、入場を制限または禁止することもありますので、予めご了承ください。

## 編集後記

10月15日・16日、3年ぶりに工人まつりが開催された。待ちに待ったこの開催に、町民が皆喜んでいた。

この2年数か月の間に、生活スタイルは大きく変化し、行動制限によりイベント等の中止やちよつとした会合すら出来なくなってしまう。それに伴い人々の心はどこかぼつかりと穴が空いたように思える。この状況において、それらを開催することは到底不可能であった事は事実であるが、枕詞のように「コロナだから」という一言で話し合いが終わってしまう実情に危機感を私は感じていた。

8月の美坂高原での星空イベントを皮切りに、只見線の全線再開通、工人まつりと三島も再び動き始めた。イベントの成功という答えが求められるのであるなら、それは行政だけではなく、我々町民一人一人が積極的に参加することで答えは見えてくる。

(菅家三吉)

### 議会広報編集委員会

編集委員長 二瓶 俊 浩  
 編集副委員長 矢澤 昇  
 編集委員 二瓶 辰右衛門  
 五十嵐 健二  
 菅家 三吉